令和8年度春期文部科学省におけるキャリア実習及びインターンシップ受入計画

指導担当者役職: 専門職
氏名: 溝口颯乃

受入課室等名	大臣官房政策課広報室			
募集学校種	○ 大学院　○ 大学　○ 短期大学　○ 高等専門学校　○ 専門学校 □ 高等専修学校　□ 高等学校　□ 中学校　□ 問わない （○がマークされている部分が希望学校種となります）			
受入時期 受入期間	2月1日(月)　～　2月12日(金) 2　週間		受入人数 （受入時期内の合計受入数）	2人
選考時の面接の実施予定	予定あり　□ 予定なし　○			
受入条件	・Microsoft Office(Excel, Word, Power Point等)をはじめとした一般的な事務用ソフトの基本的な操作ができる方。 ・特に行政機関の広報に関心のある方。			
実習内容	SNS等での情報発信業務を体験していただきながら、文部科学省ホームページやSNSを活用した文部科学省施策のより効果的な情報発信の在り方について検討していただき、最終日もしくは前日等にインターンシップ中に課す課題をレポート(PowerPoint等)にまとめ、実地でプレゼンしていただく予定です。 (具体的な内容) ①HPやSNSによる情報発信補助、文部科学省パンフレット、広報誌等の各種媒体を活用した広報の企画・提案 ②情報ひろば(※)についての企画・運営補助 ③大臣が閣議後に行う定例の企画・運営補助 ④報道対応業務の補助 ⑤その他　省全体における広報の企画立案の補助等 ※情報ひろばとは、旧文部省庁舎を活用し、文部科学行政の今と昔について、展示物やパネルを通して紹介するミュージアム型情報発信スペースです。			
受入課室等紹介	政策課広報室は、文部科学省の広報に関する司令塔として、ホームページの運営や広報誌の作成を行っています。 また、大臣等の定例会見の対応や、各部署のプレス発表が円滑に実施できるよう調整しており、省全体の情報が集まってくる部署でもあります。文部科学省で実施している施策を、どのように広く国民へ周知できるか、常に戦略的に検討しています。 このような広報・報道関係の手法は、官公庁のみならず民間企業においても必要不可欠なものです。本インターンシップを通じて、情報発信側が日頃どのような考えの下で情報発信しているか、また、分かりやすい広報をする上でどのような内容構成や媒体等を考え情報発信等しているかなどの広報業務に触れることが出来ます。また、各種施策担当局課の職員とも意見交換もできますので是非ご応募ください。			
受入課室等からのひと言	文部科学省や官公庁における広報活動に興味・関心があり、幅広い情報収集を含め、文理を問わず何事にも積極的に取り組む方の応募をお待ちしております！			

令和8年度春期文部科学省におけるキャリア実習及びインターンシップ受入計画

指導担当者役職：政策推進係・政策評価係
氏名：岩田健太郎

受入課室等名	大臣官房政策課政策推進室			
募集学校種	□大学院 □大学 □短期大学 □高等専門学校 □専門学校 □高等専修学校 □高等学校 □中学校 ○問わない （○がマークされている部分が希望学校種となります）			
受入時期 受入期間	2月1日(月) ～ 2月26日(金) 2 週間		受入人数 （受入時期内の合計受入数）	1名 （同時期であれば2名可）
選考時の面接の実施予定	予定あり □ 予定なし ○			
受入条件	・エクセル、ワード等MicrosoftOfficeをはじめとした一般的な事務用ソフトの基本的な操作ができる方 ・生成AIをはじめとしたデジタル技術の活用に関心がある方			
実習内容	①文部科学省におけるEBPMの推進 EBPMとは、合理的な根拠に基づく政策立案のことで、政策立案機能の高度化に必要不可欠です。実習では各政策・施策に係るロジックモデルの検討や関係者とのヒアリングへの同席等を行っていただきます。 ②文部科学省内の生成AI利活用の促進 省内の業務改善に向けた取り組みの一つとして、生成AIの利活用を推進しています。実習では生成AIの省内プロジェクトチームの活動に参加していただきます。 その他、当室では下記で示す様々な業務を担っておりますので、適宜従事していただきます。 ・現行制度における規制の見直しに向けた様々な検討 ・スタートアップの振興に向けた取組の検討			
受入課室等紹介	大臣官房政策課政策推進室では、省内の政策支援機能の一翼として、 ①EBPMの推進をはじめとする政策の企画立案の質向上のための取組や、政策や独立行政法人の業績の評価の取りまとめ ②政府全体の行政改革の省内外調整 ③「行政DX加速化推進プロジェクトチーム」を立ち上げ、デジタル技術や生成AIの活用を通じた業務効率化を進めるなど省内の業務改革 に取り組んでいます。			
受入課室等からのひと言	文部科学省全体を俯瞰し、省内に向けた新たな取り組みも経験することができます。専門的な知識や技術は必要ありません。前向きな方の参加をお待ちしています。			

令和8年度春期文部科学省におけるキャリア実習及びインターンシップ受入計画

指導担当者役職: 課長補佐
氏名: 高田安隆

受入課室等名	大臣官房国際課、国際統括官付		
募集学校種	○ 大学院　○ 大学　□ 短期大学　□ 高等専門学校　□ 専門学校 □ 高等専修学校　□ 高等学校　□ 中学校　□ 問わない （○がマークされている部分が希望学校種となります）		
受入時期 受入期間	2月15日(月)　～　3月12日(金) 2　週間	受入人数 （受入時期内の合計受入数）	1人
選考時の面接の実施予定	予定あり　□ 予定なし　○		
受入条件	○大臣官房国際課及び国際統括官付の業務（下記の「受入局課室紹介等」を参照）に関心があること ○ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）を通じた日本の教育・科学・文化分野での国際協力に関心があること ○日本国内のユネスコ活動に関心があること ○パソコンで、ワード、エクセル、パワーポイント等を用いて文書・資料作成ができること ※受入時期については、今後決定する会議の日程等に鑑み調整を依頼させていただく場合がございます。		
実習内容	1. 大臣官房国際課の業務に関すること（国際課業務に関わる情報収集、資料・打ち合わせ概要の作成、諸外国からの要人による表敬訪問の受入れ対応等） 2. 国際統括官付の業務に関すること（日本ユネスコ国内委員会開催の会議準備・傍聴、資料作成・整理ほか通常業務補助等） ※実習内容については、当課・当付の業務状況や参加者の希望等を考慮して決定させていただきます。また、実習期間には参加者の関心に応じて課題テーマを設定の上、最終日には実習成果の報告として、簡単な発表（プレゼンテーション）をしていただきます。		
受入課室等紹介	○大臣官房国際課は、文部科学省全体の国際関係業務の窓口として、主に以下の業務の遂行に向けて、外務省や省内各局との連絡調整を行うことで、省内の国際案件の司令塔としての役割を担っています。 【主な業務】 1. 国際交流（日米フルブライトプログラム、教育に関する人物交流等）に関する業務 2. 国際協力（開発途上国への教育支援等）に関する業務 3. 国際的な枠組み（G7, G20, ASEAN, 日中韓,等）の中での協力・交流に関する業務 4. 国際機関（国際連合大学、OECD、APEC等）に関する業務 5. 外国人学校（インターナショナルスクール）に関する業務 6. 国際バカロレア（IB）の推進に関する業務 7. 日本型教育の海外展開に関する業務 ○国際統括官付は、日本の「ユネスコ活動に関する法律」に基づき設置された日本ユネスコ国内委員会の事務局として、フランス・パリのユネスコ本部や世界各国に置かれているユネスコ国内委員会との連絡調整を行うとともに、日本国内でのユネスコ活動の普及・推進を図っています。 【主な業務】 1. 日本ユネスコ国内委員会の運営、並びにユネスコ及び関係団体との連絡業務 2. ユネスコの教育分野の活動（特に持続可能な開発のための教育（ESD））の推進に関する業務 3. ユネスコの科学分野の活動に関する業務 4. ユネスコの文化分野、情報・コミュニケーション分野の推進に関する業務		
受入課室等からのひと言	○文部科学省における国際交流・国際協力などの業務や、ユネスコ、OECD、国際連合大学等の国際機関に関する業務に関心のある皆さんのご応募をお待ちしております！		

令和8年度春期文部科学省におけるキャリア実習及びインターンシップ受入計画

指導担当者役職: 課長補佐
氏名: 本田　大輔

受入課室等名	大臣官房文教施設企画・防災部　施設企画課			
募集学校種	○ 大学院　○ 大学　○ 短期大学　○ 高等専門学校　□ 専門学校 □ 高等専修学校　□ 高等学校　□ 中学校　□ 問わない （○がマークされている部分が希望学校種となります）			
受入時期 受入期間	2月1日(月)　～　3月26日(金) 2　週間		受入人数 （受入時期内の合計受入数）	1人
選考時の面接の実施予定	予定あり　□ 予定なし　○			
受入条件	○安全・安心で豊かな学校施設づくりの業務に関心があり、意欲のある方 ○パソコンによる簡易な文書作成及び簡単な表計算処理が可能な方 ○(あれば)建築に関する分野(建築計画、建築構造、建築環境、建築設備など)を学んでいる方			
実習内容	学校施設整備に関する各種会議の運営や会議資料の作成、各種データの整理・分析などの補助を行っていただく予定です。具体的な実習内容については、参加者の興味関心、希望等を考慮して計画します。			
受入課室等紹介	文教施設企画・防災部は、文部科学省が進めている初等中等教育や高等教育などの教育政策、科学技術・学術、スポーツ、文化政策の推進を、建築に関する技術的知見をベースに「ハード面」で支えている部署です。 その中で施設企画課は、主に初等中等教育段階(幼稚園・小・中・高・特別支援学校)における新たな文教施設づくりを目指して、子どもたちへのよりよい教育環境づくりのための研究やエコスクールなど、学校施設の整備に関する様々な取組を進めています。 施設企画課でのインターンシップは、きっと皆さんがこれまで過ごしてきた「学校」について新たな発見・経験ができ、同時に文部科学省が進めている教育政策も知ることができる有意義なものとなることと思います。			
受入課室等からのひと言	少しでも文教施設に関する業務に関心があり、意欲のある方の参加をお待ちしています！			

令和8年度春期文部科学省におけるキャリア実習及びインターンシップ受入計画

指導担当者役職：庶務係長
氏名：森山泰佑

受入課室等名	大臣官房文教施設企画・防災部施設助成課		
募集学校種	○大学院　○大学　○短期大学　○高等専門学校　□専門学校 □高等専修学校　□高等学校　□中学校　□問わない （○がマークされている部分が希望学校種となります）		
受入時期 受入期間	2月8日(月)　～　3月12日(金) 1～2　週間	受入人数 （受入時期内の合計受入数）	2人
選考時の面接の実施予定	予定あり　□ 予定なし　○		
受入条件	・学校施設に関して興味・関心があること（建築に関する専門的な知識等は不要です） ・ワード・エクセル・パワーポイント等により、簡易な文書作成や、表計算処理が可能であること		
実習内容	公立学校施設整備に係る下記の業務 ・予算執行業務の補助 ・各種調査業務の補助 ・資料作成、ホームページ更新業務の補助 ・各種会議等の見学 ・職員との意見交換		
受入課室等紹介	学校施設は、児童生徒等の学習・生活の場であるとともに、災害時には地域住民の避難所ともなることから、耐震化・老朽化対策などによる安全性の確保や防災機能の強化は重要です。 施設助成課では、こうした公立学校施設の整備に関する財政支援を担当しており、地方公共団体と協力・連携しながら施設整備を進めています。 また、学校施設への木材利用や環境に配慮した施設整備の推進、余裕教室や廃校等の施設の有効活用に関する先進事例の取りまとめ・紹介などの取組も行っています。		
受入課室等からのひと言	学校施設は、創造性豊かな人材を育成する教育活動を行う上で欠くことのできない基盤であるとともに、地域コミュニティの拠点として重要な機能を果たしています。 今回のインターンシップを通じて、子供達の成長を支える場としての学校施設について、様々な興味・関心を持っていただければ幸いです。		

令和8年度春期文部科学省におけるキャリア実習及びインターンシップ受入計画

指導担当者役職：主任
氏名：石川　久美子

受入課室等名	大臣官房文教施設企画・防災部参事官（施設防災担当）付		
募集学校種	○ 大学院　○ 大学　○ 短期大学　○ 高等専門学校　○ 専門学校 □ 高等専修学校　□ 高等学校　□ 中学校　□ 問わない （○がマークされている部分が希望学校種となります）		
受入時期 受入期間	2月1日（月）　～　3月12日（金） 1～2　週間	受入人数 （受入時期内の合計受入数）	1人
選考時の面接の実施予定	予定あり　□ 予定なし　○		
受入条件	・学校施設の防災対策や国立文教施設の整備等に関心がある方、又は建築に関する専門分野（建築計画、建築構造、建築環境、建築設備など）を学んでいる方 ・Word、Excel、PowerPoint等により、簡易な文書作成や表計算処理が可能な方		
実習内容	主に次の業務を経験していただく予定です。 ・学校施設の防災対策に関する業務補助（資料作成、会議傍聴及び現地視察など） ・国立の文教施設等の設計・工事監理の業務補助（図面や積算など設計図書の作成や工事現場管理など） ・文教施設の整備の基準（建築、電気設備、機械設備、土木など）の作成の業務補助 ・職員との意見交換 具体的な実習内容については、現地視察や工事現場管理などは工事の進捗・業務状況や参加者の興味関心、希望等を考慮して計画します。		
受入課室等紹介	文教施設企画・防災部参事官（施設防災担当）付では、 ・学校施設の耐震対策、防災機能強化等の推進に関する業務 ・被災した学校の早期再開を支援するために必要な教職員派遣等を行う「被災地学び支援派遣等枠組み（D-EST）に関する業務 ・公立学校施設等の災害復旧の財政支援に関する業務 ・国際連合大学、日本芸術院、日本学士院等国立文教施設等の設計・工事監理、施設整備の技術的基準の作成等の業務 を行っています。		
受入課室等からのひと言	地震・台風等の自然災害における児童生徒の安全は重要な課題です。 学校施設の防災対策や国立文教施設の整備等に関心がある方の御応募をお待ちしております。		